

ふりがな 氏 名	さきばら のぶこ 榊原 信子	職 名	准教授
取得学位	博士 (小児発達学)		
学 歴	大阪大学大学院 連合小児発達学研究科		
所属学会	日本児童青年精神医学会、日本子ども虐待防止学会、日本 EMDR 学会 日本小児精神神経学会		

教 育 活 動	
(主な担当科目)	
2025 年 (学部) 障害者・障害児心理学、心理学検査実習、心理演習、心理実習、専門演習ⅠB・ⅡA・ⅡB、卒業研究	(大学院) 臨床心理基礎実習、臨床心理査定演習Ⅰ、基礎実習、臨床心理実習Ⅱ、心理実践実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅱ)、課題研究Ⅰ・Ⅱ
2024 年 (学部) 障害者・障害児心理学、心理学的支援法、心理アセスメント、心理学検査実習、心理演習、心理実習、専門演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、卒業研究	(大学院) 臨床心理基礎実習、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理実習Ⅱ、心理実践実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅱ)
2023 年 (学部) 障害者・障害児心理学、心理学的支援法、心理学検査実習、心理実習、専門演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、卒業研究	(大学院) 臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅱ、心理実践実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅱ)
2022 年 (学部) 障害者・障害児心理学、心理学的支援法、心理学検査実習、心理実習、専門演習ⅠB	(大学院) 臨床心理基礎実習、臨床心理実習Ⅱ、心理実践実習Ⅰ、臨床心理実習Ⅰ (心理実践実習Ⅱ)
2022 年 (他大学) 障害児保育、保育園・幼稚園実習生巡回指導など	
2021 年 (他大学) 教育相談、保育内容「言葉」、子どもの保健、障害の理解、保育園・幼稚園実習生巡回指導など	
2022 年～現在に至る 大学院生のスーパーヴィジョン	
(その他)	
・ 2018 年 4 月～2021 年 3 月 親子の相互作用を促すことで養育者の発達を期待した地域親子支援グループ集まれ A キッズの開催	
・ 2015 年 12 月～2022 年 3 月 「養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築」国立研究開発法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター (JST/RISTEX)「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」領域プロジェクトによる「マルトリ予防 WEB サイト」の開発	

研 究 活 動	
(著書等)	
・ 被虐待児の聴覚特性「V. 聴覚とその異常」単著 Clinical Neuroscience (中外医学社) 41 巻 6 号 2023/5	
・ あらゆる人の"とも育て®"が、“マルトリ予防®”につながっていく！—「マルトリ予防 Web サイト」開設後の活用状況— 単著 地域保健 11 月号 (東京法規出版) 2022/11	
・ 気がかりな親子を地域でどのように支えていくか—両親ともに発達障害が疑われ、母が子どもを捨てた家族の事例— 単著 『子ども虐待の予防とケアのすべて』 Vol.37 (加除式書籍追録) 第一法	



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

規株式会社 2022/2

- ・「マルトリ予防」と「とも育て」を学ぼう・広めようー養育者支援によって子どもの虐待を低減するシステムの構築 単著 地域保健 5月号（東京法規出版）2021/5
- ・『子どもの脳とところがすくすく育つマルトリに対応する支援者のためのガイドブック』
共著者：榊原信子、椎野智子、友田明美 福井大学子どものこころの発達研究センター 2020/3

（論文等）

- ・ Increased resting-state activity in the cerebellum with mothers having less adaptive sensory processing and trait anxiety. (原著:査読有) 共著者：Nobuko Sakakibara、Kai Makita, Ryoko Kasaba, Ryo Kuboshita, Takashi X.Fujisawa, Akemi Tomoda The Journal of Child and Brain Development, 14 (1) 2023/11
- ・ Longitudinal changes in attentional bias to infant crying in primiparous mothers. (原著:査読有) 共著者：Hiraoka D, Makita K, Sakakibara N, Morioka S, Orisaka M, Yoshida Y, Tomoda A. Front Behavioral Neuroscience, 22:17:1192275, 2023/9
- ・ マルトリートメントの理解に関する研修効果の検討ー子ども虐待を低減するシステムの構築を目指してー (査読有) 共著者：椎野智子、榊原信子、友田明美『小児の精神と神経』第60巻4号 2021/1
- ・ Development of Social Attention and Oxytocin Levels in Maltreated Children (原著:査読有) 共著者：Shizuka Suzuki, Takashi X. Fujisawa, Nobuko Sakakibara, Toru Fujioka, Shinichiro Takiguchi, Akemi Tomoda Scientific Reports 10 (7407) 2020/5

（研究発表等）

- ・ 体罰容認意識と自己肯定意識の関連についてー運動部活動での被体罰及び不適切指導被経験の観点からー 日本子ども虐待防止学会第30回学術集会 2024/12
- ・ DNA メチル化と乳児泣き声に対する脳活動の関連 日本心理学会第86回学術大会 2022/9
- ・ Empathy and Behavioral Activation System Predict Neural Activation to Infant Crying in New Mothers The Organization for Human Brain Mapping Annual Meeting. 2021/6
- ・ 産後うつ傾向と我が子の泣き声に対する注意バイアスの関連 第21回日本赤ちゃん学会 2021/6
- ・ 気がかりな親子を地域でどのように支えていくかー保健センター・保育園巡回の実践からー 日本子ども虐待防止学会第26回学術集会大会企画シンポジウム「子ども虐待の未然防止をめざしてー一妊娠期からの切れ目ない支援と親が安心してできる関係づくり」 2020/12

社 会 活 動

（講演等）

- ・ 2024年10月 岐阜いのちの電話相談員養成講習会講師「虐待・トラウマについて」
- ・ 2024年8月 福井県 大切な子どもたちの成長を願ってー今日から始めるマルトリ予防ー
- ・ 2024年2月 千葉県市川市 令和5年度 市川市高齢者虐待防止研修会 高齢者虐待における対応ー「発達障がい」に関する知識の応用ー
- ・ 2023年11月 八戸市 令和5年度 八戸圏域連携中枢都市圏事業 児童虐待防止セミナー 叱らずにすむ子育ての方法、しつけの仕方（市民対象）
- ・ 2023年11月 八戸市 令和5年度 八戸圏域連携中枢都市圏事業 児童虐待防止セミナー 防ごう！マルトリー親の見守りのポイントー（支援者対象）
- ・ 2023年10月 未来協働プラットフォームふくい推進事業「マルトリ予防士® 講座」 マルトリ予防®のための養育者支援・支援者支援
- ・ 2023年8月 岐阜いのちの電話相談員全体研修会 マルトリートメントとトラウマインフォームドケア



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY

- ・ 2022 年 11 月 千葉県市川市 令和 4 年度児童虐待対策事業 児童虐待防止啓発セミナー
「地域みんなで“ほめ育て・とも育て”～孤(孤立)育児にならないために～」
- ・ 2022 年 2 月 関東発達相談員研究会第 68 回例会ーオンライン Zoom 研修ー
「成人女性の発達障害とマルトリートメント」
- ・ 2021 年 6 月 鯖江市保育協議会育児講演会「脳科学から考える子どもへの接し方
ー子どもに避けたいかわりーオンライン Zoom セミナー」
- ・ 2020 年 10 月 福井市社会福祉協議会主催講演会 「マルトリートメントって何ですか？」

(その他)

- ・ 2022 年 4 月～「マルトリ予防 WEB サイト」のスーパーヴァイザー



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。

TOKAI GAKUIN UNIVERSITY